

		既存	A-1案 (体育館を校庭側に配置)	A-2案 (プールを5階に配置)	
<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地面積 約13,650㎡ 150mトラック 50m直線路 <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通教室 特別教室 管理諸室 体育館 学童・地域 校庭 <p>▲ : 敷地への出入口 ▲ : 建物への出入口 ← : 開放エリア</p>		<p>3階イメージ</p> <p>2階イメージ</p> <p>配置兼1階イメージ</p>	<p>3階イメージ</p> <p>2階イメージ</p> <p>4階イメージ</p> <p>配置兼1階イメージ</p>	<p>3階イメージ</p> <p>2階イメージ</p> <p>4階イメージ</p> <p>配置兼1階イメージ</p>	
建物配置の特徴		敷地形状に合わせて建物が配置され、何棟にも分かれる。南側からのアプローチが長い。六角校舎が特徴	<ul style="list-style-type: none"> 建物を敷地北側に配置 校庭を敷地南側に配置 駐車場を敷地北東側に配置 	<ul style="list-style-type: none"> 建物を敷地北側に配置 校庭を敷地南側に配置 駐車場を敷地北東側に配置 	
反映した意見 (アンケート・ワークショップ) ※の詳細は参考資料を参照		—	<ul style="list-style-type: none"> ※教室、昇降口、図書室、六角校舎、ピロティ、中庭 ・体育館を校庭側に配置 	<ul style="list-style-type: none"> ※教室、昇降口、図書室、六角校舎、ピロティ、中庭 ・体育館を西側に配置し、東側の車両動線をなくしたことで、校庭の広さを確保 	
2案に共通する配慮事項・基準		—	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室は南向きで校庭に面する配置 ・職員室は校庭が見える配置 ・給食室は搬入がしやすい配置 ・学年ごとのまとまりがあるゾーニング ・普通教室と一体的に使用することができるオープンスペースを配置 	—	
建物内部の特徴	校舎面積	約6,860㎡	約13,345㎡	約13,465㎡	
	地域	南側からアプローチ	北側・南側からアプローチ	北側からアプローチ	
	普通教室の環境	日当たり良好	日当たり良好	日当たり良好であり、特別教室とのゾーニングが明確	
	開放エリアとの区分	学校専用諸室と開放諸室が各棟に混在している	体育館を校庭側に配置するため、学校専用諸室と開放諸室が北側の棟と南側の棟に混在し、区画が複雑になる	学校専用諸室を南側の棟、開放諸室を北側の棟へまとめてゾーニングし、明確に区画することができる	
	共用部 (廊下など)	各棟を廊下でつなぐため、動線が長い	棟が分かれているが、廊下は回遊性を確保	棟が分かれており移動動線に限られる	
	管理諸室	校庭に面する	校庭に面する	校庭に面する	
校庭広さ	校庭広さ	約4,000㎡ (の部分の面積を示す)	約4,000㎡ (の部分の面積を示す)	約4,700㎡ (の部分の面積を示す)	A-1案よりも南棟の位置を北側に6m後退している
	校庭形状	敷地南側に整形に配置	敷地南側に整形に配置	敷地南側に整形に配置	
	校庭環境	日当たり良好	日当たり良好	日当たり良好	
近隣への日影の影響		—	東側隣地への影響は少ない 西側隣地への影響が大きい ※体育館・プール部分の影響	東側隣地への影響は少ない 既存と比べて、西側隣地への影響がある	
工事の影響		—	南側を工事の作業場として想定し、北西側にも空地あり	南側を工事の作業場として想定	